

補聴器について

補聴器は医療機器です。主なタイプは3種類です。



耳かけ型

耳にかけて使うタイプで、耳あな型に比べ、操作が簡単です。また、とても小さく、カラフルでおしゃれなデザインも増えています。レシーバー（スピーカー）が本体から分離され、耳の穴の中に納まるRIC（Receiver in Canalの略）というタイプもあります。



耳あな型

耳あなの中に収まるタイプです。小型軽量で目立ちにくく、耳（耳介）の集音機能を活かすことが出来ます。耳の形状と聞こえの程度に合わせて作るオーダーメイドタイプが一般的です。



ポケット型

本体とイヤホンをコードで繋ぐタイプです。スイッチやボリュームが比較的大きく、操作が簡単です。マイク内蔵型では話し手に本体を向ける事で聞き取りやすくなります。

補聴器の価格の差は、補聴器に搭載されている機能、性能の違いです。まわりの雑音を自動的に抑制する機能や、ハウリング（ピーピー音）を抑える機能については、平均的な価格帯の補聴器には基本的に搭載されています。

より自然に聞こえる機能、そして、一人ひとりの聴力にあわせて音質をきめ細かく調整できる機能などは、その機能が高性能になればなるほど、高額な価格帯になっていきます。しかし、補聴器を購入される場合は、価格よりもお使いになる方の「聞こえ」の程度と「使用目的」にあった機種を選ぶことをおすすめします。

補聴器を購入する前に

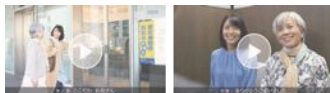
こちらから



スペシャルムービー WEB にて公開中

補聴器を購入する前に是非一度ご視聴ください

<https://www.jhida.org/movie/>



発行者

JHIDA

一般社団法人

日本補聴器販売店協会

協会サイトはこちら
(www.jhida.org)



〒101-0047 東京都千代田区内神田2-11-1 島田ビル6F

● この冊子は、厚生労働省医政局より「令和4年度 補聴器販売者の技能向上研修等事業」の委託を受けて作成したものである。

補聴器販売者の技能向上研修等事業



厚生労働省 補助事業

Ministry of Health, Labour and Welfare

JHIDA

JAPAN HEARING INSTRUMENTS DISTRIBUTORS ASSOCIATION

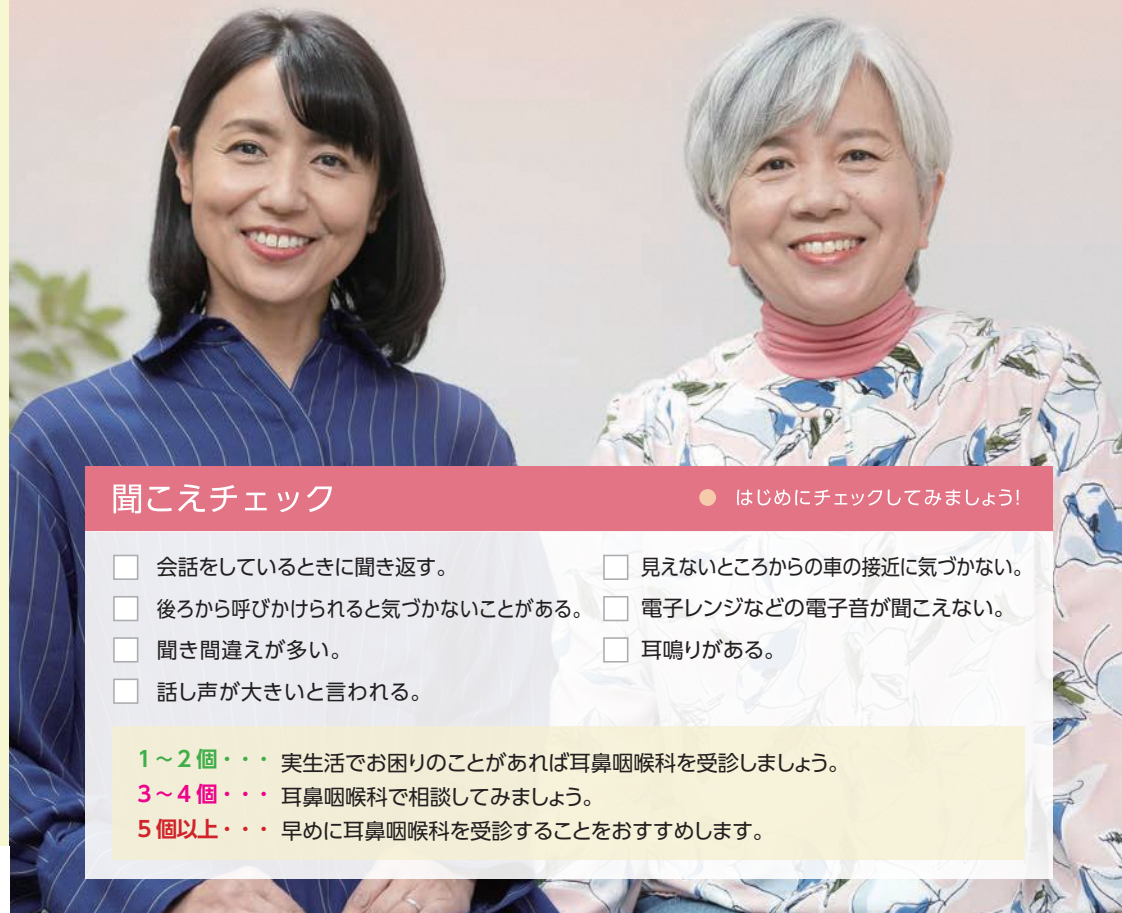
「聞こえにくい」と感じている方へ

はじめての補聴器

安心して補聴器を購入していただくために

入門編

第1版



聞こえチェック

● はじめにチェックしてみましょう!

- | | |
|--|--|
| ☐ 会話をしているときに聞き返す。 | ☐ 見えないところからの車の接近に気づかない。 |
| ☐ 後ろから呼びかけられると気づかないことがある。 | ☐ 電子レンジなどの電子音が聞こえない。 |
| ☐ 聞き間違いが多い。 | ☐ 耳鳴りがある。 |
| ☐ 話し声が大きいと言われる。 | |

1~2個・・・ 実生活でお困りのことがあれば耳鼻咽喉科を受診しましょう。

3~4個・・・ 耳鼻咽喉科で相談してみましょう。

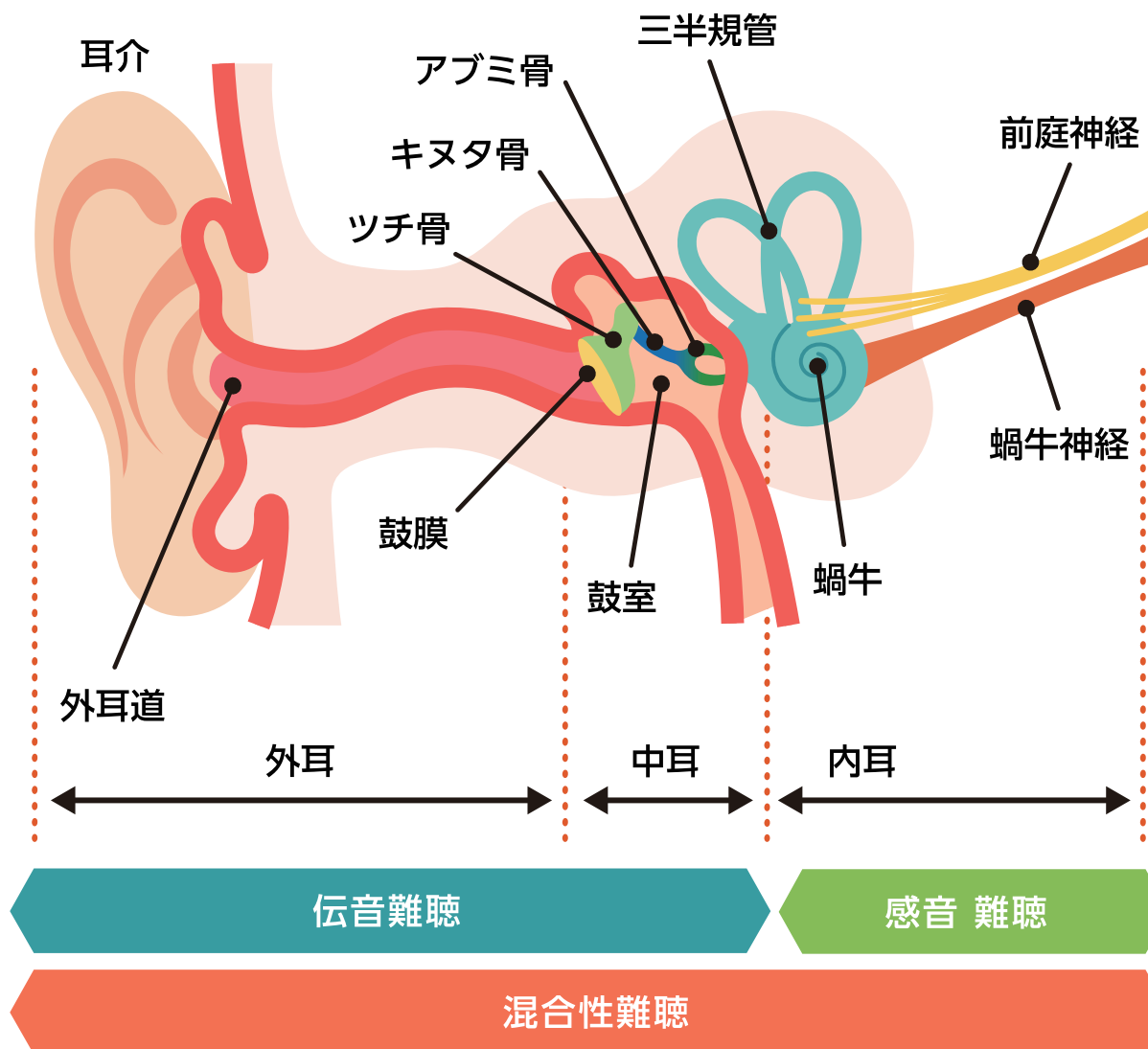
5個以上・・・ 早めに耳鼻咽喉科を受診することをおすすめします。



一般社団法人 日本補聴器販売店協会

聞こえの仕組みと難聴の種類

人によって違いがあるんです



人間の耳は、外耳・中耳・内耳の3つの部分から成り立っています。外耳から入った音は鼓膜に達し、中耳のツチ骨・キヌタ骨・アブミ骨によって、内耳に伝えられます。音の信号は、蝸牛の有毛細胞によって電気信号に変換され、脳に送られます。このように、耳の各器官がそれぞれの役割を果たすことで、音をきちんと聞きとることができます。耳のどこに原因があるかで、難聴の種類や程度が異なります。

耳鼻咽喉科を受診し
聴力検査等により補聴器が有効であるか
診断してもらいましょう



補聴器を購入する前に

トラブルにならないために知っておくこと

医師の診察を受けずに補聴器を購入した方の中には治療が必要であったり、適した補聴器をつけていない場合があります。

また知識・技術不足の補聴器販売店から直接購入したことでトラブルになるケースもあります。

ご自身にあった補聴器を見つけるには耳鼻咽喉科医(補聴器相談医)にご相談の上、適切な調整とケア、コンサルティングを受けることのできる専門の知識・技能をもった認定補聴器技能者がある認定補聴器専門店をお勧めします。



認定補聴器専門店とは?



「認定補聴器専門店」とは、「認定補聴器技能者」が在籍し、補聴器の調整・選定に必要な種々の測定機器や設備について公益財団法人テクノエイド協会の認定審査基準をクリアしたお店だけに与えられる資格です。

もっと詳しく知りたい方はこちら

■ 公益財団法人テクノエイド協会 ホームページ
www5.techno-aids.or.jp/nintei.php



補聴器相談医とは?



補聴器を用いた医療に関わる、日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会から委嘱された医師です。必要に応じて販売店を紹介し、補聴器購入後も認定補聴器技能者と連携し、経過観察と適切な使い方の指導をします。

もっと詳しく知りたい方はこちら

■ 一般社団法人日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 ホームページ
www.jibika.or.jp/modules/specialist/index.php?content_id=3



認定補聴器技能者とは?

認定補聴器技能者の役割.....



- 補聴器を一人ひとりの状態に合わせて調整(フィッティング)、より快適な「聞こえ」を追求
- テレビ、電話、会話が聞きづらい時のご相談
- 「聞こえ」や補聴器のご購入のご相談
- 公的支援のアドバイス
- 補聴器相談医と連携した対応

「認定補聴器技能者」になるためには、4年間の講習期間を経て、一定水準以上の知識と技能を取得し、公益財団法人テクノエイド協会の資格試験に合格する必要があります。

もっと詳しく知りたい方はこちら

■ 公益財団法人テクノエイド協会 ホームページ
www.techno-aids.or.jp/senmon/hocho.shtml



補聴器購入の流れ

STEP 01

医師の診察

難聴の診断・治療。
補聴器が必要か
効果があるか診断。



STEP 02

補聴器販売店に相談し、
コンサルティング・適切な調整(フィッティング)を
受けて自分にあった補聴器を購入

難聴は一人ひとり違います。高い音(高音)が聞こえづらくなっていたり、低い音(低音)が聞こえづらくなっていたり、また、補聴器を使用する環境も違います。補聴器の性能を最大限に発揮するためには、補聴器を一人ひとりの聞こえに合わせて調整(フィッティング)することが必要です。



補聴器販売店で 相談・購入する際のポイント

詳しい情報は
こちら



- 耳鼻咽喉科医からの紹介状を持って行きましょう。
- ご家族などと一緒に行きましょう。
- 補聴器をどのように使用したいか「目的」を伝えましょう。
- どんな時に聞こえにくいかなどできるだけ細かく伝えましょう。
- ご予算、価格等の相談もしましょう。

STEP 03

補聴器は
購入しただけで
終わりではありません



補聴器を使用して生活するなかで、聞こえに不具合など感じる事があれば補聴器販売店で再度調整をしてもらいましょう。購入後も調整と使用トレーニングやアドバイス等のケアを受けながら、自分にあった補聴器にしていきます。

STEP 04

補聴器で聞こえの不便さが解消し、
生活の質が向上

定期的なアフターケアを受けることで安心して使い続けることができます。耳あかや汚れなどが原因で正常に聞こえない場合もあります。定期点検で安心してお使いいただけます。また、聞こえに変化が生じたら耳鼻咽喉科を受診しましょう。



消費者へのアドバイス

- 補聴器を購入する前に専門医に相談すること
- 補聴器について情報を収集するとともに、専門的な設備や専門知識・技術を持った者がいる補聴器販売店で購入すること
- 耳の聞こえが十分でない高齢者の補聴器の契約には周りの協力が必要
- トラブルになった場合など、最寄りの消費生活センターへ相談すること

(「独立行政法人 国民生活センター」ホームページより)